

【22_172技術系メルマガ】『学び』につなげる上手な質問の仕方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

週のスタート、その上NYマーケット休場ということで

あまり期待せずに緩くチャートを見ているテンションだったのですが

昨日はちょっと珍しい通貨でトレードしました(笑)

▼USDJPY(S) 結果: +24pips ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1538782608137781248?s=20&t=CkMNRQbBeMPLP8xnzwKSq>

日足の環境としては、ひたすら押し目を狙う以外に選択肢が無いように見えるが

ロングを撃つ背景としてのサポート根拠があるわけではないので
もう少し下位の時間足に落として流れを見る必要がある状況。

H4足は、ショート方向に邪魔になりそうなMAの束があるが、高値圏で停滞しているような挙動、
H1足は20SMAを下抜け(G1)確定しているので

短期的な戻り売りを狙う場面。

M15/MA収縮と、三尊パターン形成に加え、下落1波も確認

M5/更に小さな三尊パターンが形成されており、そのネックラインブレイクでショート敢行

直近安値ではリワードが足りないので、到達の時点で建値に移動するつもりだったが

その後すぐ目標利確に到達して決済。

～～

さて、今回のメルマガのテーマは思考系か技術系かちょっと迷ったのですが(笑)

学習力を深めるという意味では技術かな、ということで【技術系】に括りました。

このメルマガを読んでいる皆さんは、僕らのサロンや講座に参加している人だけでなく

僕以外の誰かのトレードコミュニティに参加していたり、メルマガ等公開発信だけで頑張っている人も多いかと思います。

それでも、程度の差はあれど「誰かに質問をする」という機会はどこかにあるでしょう。

僕も、日々こんな活動をしているので、1日に沢山の質問などを貰い、それにお答えしているのですが

「この人は、質問の仕方が上手いなあ」と思ったり、他方で「色々惜しい」と思う方も結構います。

折角時間をかけて質問をするわけですから、そこから得たフィードバックは最大限に活用して

次のアクションに繋げてほしいものです。

そこで今回は、『有効に学びに繋げる』ための上手な質問の仕方について

僕の考えをまとめていきます。

□
└─■ まず、「丸投げ」をやめよう

いきなり意味の分かりづらいサブタイトルから始まりますが(笑)

例として、MAのパラメータに関する質問で考えてみましょう。
(以下、説明の都合によるフィクションです 笑)

「わたしは〇〇さんの商材に従って、××のパラメータを使っていますが、これでもMAの収縮は観れますか？」

大体読みながら予感していると思いますが、これらは「良くない例」です。

何がいけないのか？

それは、「自分で確認・検証してみなければ」わからないことを質問してしまっているからです。

悪く捉えれば、「自分で検証するのは面倒だから、あわよくば教えてもらって手軽に解決しよう」とも取られかねない聞き方になってしまっていますよね。

実際答える側としても、自分が使っていないテクニカル・インジケータが有効であるかを訊かれても

自身が実際その条件でトレードも検証した事も無ければ、答えようがないのです。

ですから、このタイプの質問が来た時には僕の回答は決まって

～～

そのテクニカルで検証もトレードもしたことが無いので、その有効性は僕には分かりません。

今後検証して、何か気付いたことがあれば、是非また教えてください

～～

という感じになってしまいます。実際その通りなのでこれ以上の答えようが無いんですよ。。

これでは折角質問をしても、お互いにまったく意味がないわけです。

では、どんな質問の仕方をする、有意義なやり取りになるのでしょうか？

答えは簡単で、『質問を投げかける相手を理解しようとする』スタンスで質問をする事です。

ですから、『この人に質問をしてみたい』と思ったら、先ずその人が何をしているのか（どんなテクニカルでトレードをしているのか）を良く知ることが重要になります。

例えば、僕のトレードのやり方については、『デイトレ講座』を軸として

使っているテクニカルの条件は全て共有していますし、ラインの引き方なども

常に観られるように、公式サイトの方に掲載しています。

▼参考:環境認識のためのテクニカルの一覧(公式ページ)▼

https://kuro-gaki.com/begginer_tutorial_jsd/#i-2

この情報も、読んでいくと「なぜそうなるの??」という疑問が色々と湧いてくると思います。

現状の自分ならどう考えるか?を対比しながら質問を整理していくと

理解の核心に迫るための質問に繋がってきます。

折角質問する機会があるので、ぜひとも自分の為に有効な活用をしてもらえたらと思います。